

【吾以外皆我師】



JABM評議員
電子磁気工業(株)
児島 隆治

昭和47年4月、当社の名古屋営業所に現地採用され入社しました。いわゆる団塊の世代であり、就職先は多数ありましたが電子磁気工業を選択しました。理由はクルマ好きであったことです。当時は着磁関連より自動車部品、鉄鋼関連向けの非破壊検査機器の製造販売が多く地元のトヨタ、デンソー、アイシンなどと取引しているということが決め手でした。当時の若者はまずマイカーを手に入れることができ「もてる」必須条件でした。トヨタの地元でありながら最初に購入したのは友人が三菱自動車に入社したのでコルトギャランAⅡ GS、次はギャランΣ、ブルーバード、チェイサー・アバンテ、セリカ1600GT、パジェロ、タウンエース、エスクード、ヴァンガード、ランクルプラドと言う車歴です。車の使い道はと言うと、車イジリが好きなので若干の改造ですが、最近ではノーマル仕様のまま会社の人たちとのキャンプと始めたばかりの渓流釣りです。

「若者の車離れ」が言われて久しいですが、車以外にも色々な趣味を持つことで新たな世界が広がるので何か夢中になるものを見つけてほしいと思っています。

いま当社は日本ボンド磁性材料協会のほか東京中小企業家同友会、日本検査機器工業会、日本非破壊検査協会、日本非破壊検査工業会、日本磁友会などの業界団体に加盟しています。東京中小企業同友会では共同求人と言う活動を約20年続けています。共同求人とは、中小企業の課題は求人であり、1社で求人するのではなく会員各社が集まり共同で求人を行う活動です。社長、役員が集まり求人イベント、大学などへの訪問、大学での就職講義、各種インターンシップの企画、勉強会などを手盛りで行っています。東京中小企業家同友会は東京の中小企業2400社、全国では5400社が加盟しています。私は当時の社長からの指示で2005年から本格的に参加し社員も多数共同求人で採用できました。委員は私より若い社長や起業者が多く、会合において異業種の社長方々の話を聞くことが本当に楽しくて、また視点、考え方の違いを理解することが如何に大切なことを気付かされる会でした。

ボンド磁性材料協会の方々は長きに亘り日本のボンド磁石をけん引されてきた重鎮ばかりです。これからも発展させるよう若い人達、女性技術者が積極的に参加できる協会にすることも重要ではないかと思います。後に続く人たちがJABMをさらに発展させてくれるよう微力ながらお役に立てるよう尽力してまいります。